

デジタルトランスフォーメーション(DX)って必要なの？

皆さんこんにちは。燕商工会議所会員の恩田です。

第四回目の今回はDXの進め方(取り組み手順)についてお伝えしたいと思います。

基本的にはトップダウンとボトムアップで全社的に推進する必要がありますが、手順としては以下のような流れになると思います。

まず、DXの事例集を参考にしながら具体的にどういうことをやっているのか、何ができるのか、を理解することから始めます。

次にビジネスとして目指す姿を描き(考え)ます。例えば、スマートプロダクトを目指すとか、スマートサービスやスマートファクトリーを目指したいなどが、それに当たります。

そして現状を把握します。これにはIPAが公開している、DX推進指標やDX対応状況を評価するツールなどが活用できます。ただ、これはちょっと難しいなあと思ったら、弊社DXサイトにもっと簡単なチェックリストや事例を公開しています。その名

も「DXビタミン21」。ご興味がありましたら、ぜひチェックしてみてください。(最後のQRコードからサイトが閲覧できます)

それからチェック項目に対し、現状できていることと、目指す姿との差(課題)を明確にしていきます。

最後に、その課題を解決するための計画を策定し、実行していきます。計画のポイントは、いきなり大きな、高い目標を設定せず、小さく小回りの利く計画に落とし込んで実行することかと思います。そして、実行した結果を検証・再評価し、PDCAサイクルを早く回すということが重要かと思います。

次回は実際にDXの取り組みをされている企業様の事例を紹介したいと思います。



DXビタミン21はこちら 

株式会社ウイング
県央R&Dオフィス 恩田 実